

ニュースキンジャパン
社会貢献活動

2026



FORCE
FOR
GOOD

子どもたちの笑顔と大切な地球のために
For Children's Smiles

Thank you!

Japan FFG
20th Anniversary



想いがつながり、笑顔が広がる。
感謝と共に次の一歩へ。

日本独自の基金は、 20周年という節目を迎えました。

2006年、「日本国内でも支援の輪を広げたい」という声から生まれたニュースキンジャパン フォース フォーグッド基金。それ以来、計画的な支援体制を整え、災害時には迅速に寄り添う支援を届けられるようになりました。活動を支えてくださったすべての方々に感謝いたします。これからも未来を担う子どもたちに多くの笑顔を届けられるよう、共に歩んでまいります。



◀ ニュースキンジャパン
フォースフォーグッド基金
設立20周年特設Webサイトはこちら



Force for Good (フォース フォー グッド) それは、未来を担う子どもたちを支えるための合言葉。

ニュースキン「Force for Good (人々がより豊かになるための力となる)」という住みよい世界を創るための活動に取り組んでいます。ここでは、グローバルでの日本での活動は5ページへ。

理念のもと、次の世代を担う子どもたちにとって、歩みをご紹介します。



2024
ビタミール寄付が
累計8億5,000万食を
超えました

1993 「Force for Good」の誕生



ニュースキンは1984年、米国ユタ州で創業しました。以来、「あなたにとって良いものだけを…」という思いから生まれた製品を世界中にお届けしています。さらに1993年には、創業者ブレイク M. ローニーの「一丸となって、世界をより良くする力 (Force for Good) になろう」という言葉から、社会貢献活動のテーマである Force for Good が生まれました。

2002 ビタミールによる食糧支援が始動。 子どもの命を救い、成長を助けています



飢餓に苦しむ世界中の子どもたちのために、チャリティとビジネスが融合したナリッシュザチルドレンが始まりました。これは、ビタミールという製品 (栄養食) を会員や社員が購入・寄付できるプログラムです。日本では2003年に開始しています。



1996 フォース フォー グッドの活動は、 感謝の気持ちから始まりました



エスネビック製品の開発にあたり、植物の知恵を与えてくれた先住民への感謝を込め、製品1個のお買い上げにつき25セントを寄付し、先住民の文化継承や環境保護に役立てるフォース フォー グッドキャンペーンを展開しました。

2021年までの25年間で、1,300万ドル以上を寄付しています。エスネビック製品は、民族植物学の世界的権威ポール A. コックス博士 (写真左上) らとのパートナーシップにより開発されました。

1998 米国で財団が設立され、 子どもたちに笑顔を届け続けています

エスネビック製品によるフォース フォー グッドキャンペーンを継続的な活動として形にするため、社会貢献活動の母体となるニュースキン フォース フォー グッド財団を米国本社が設立しました。財団は、子どもたちが病気や貧困に苦しむことなく、十分な教育を受け、希望をもってより豊かに暮らせる環境づくりを目指しています。



詳しくはこちら (英語) ▶



2019 環境に配慮した製品づくりを進めています

サステナビリティ (持続可能性) の向上に積極的に取り組み、製品パッケージが環境に与える影響を評価するスコアリングシステムを構築しました。2030年までに全製品のパッケージを簡素化し、サステナブルなものに変えるといった取り組みを進めています。

NEXT 日本での活動

子どもたちの笑顔と大切な地球の未来のために。 国内でも広がるForce for Goodの想い。

会員と社員からの寄付や製品購入によって成り立つニュースキンジャパン フォース サステナビリティの取り組みを支えています。また、ナリッシュ ザ チルドレン プログラムを通じて、その歩みを3つの取り組みからご紹介します。

3つの取り組みの詳細は7ページから。

フォー グッド基金は、フォース フォー グッド活動やラムを通じて、マラウイの子どもたちにも栄養と

2026

ニュースキンジャパン
フォース フォー グッド基金
設立20周年

2006

ニュースキンジャパン
フォース フォー グッド基金設立

FORCE
FOR
GOOD

フォース フォー グッド
活動

セカンドハーベスト・
ジャパンとの
パートナーシップ開始



2011

Force for Good
東日本プロジェクト発足



2014

フード フォー キッズ
プロジェクト支援開始



2016

One for Smilesプログラム*1開始



リーダー・イン・ミー プログラム
導入支援開始



2024

特別パッケージ米*2
提供開始



2017

Kids Café創設支援・
運営支援開始



2000

霧多布湿原ナショナルトラスト
とのパートナーシップ開始



2021

Force for Green
リサイクルプログラム
開始



2003

ビタミンール購入・寄付
日本で開始

2023

霧多布湿原
ニュースキンの森
プロジェクト開始



*1 全製品の売上利益の1%が基金に寄付されるプログラムです。 *2 ブランドセンターのCaféで販売される全メニューの売上の半額が基金へ寄付され、その寄付金はお米の購入費用などにあてられます。お米はセカンドハーベスト・ジャパンとコラボした特別パッケージで提供されます。

子どもたちの明るい未来につながる活動

だれかのためのアクションが、
自分の未来を明るくする。
つながっているから、できること。
あなたと変えたい未来が、明確にあります。



ニュースキンジャパンの社会貢献活動 — 柱となる3つの取り組み

食の不均衡や教育機会の格差、子どもの飢餓や環境破壊など、地球には多くの困難があります。そんな世界の泣き顔を未来の笑顔に変えたいという思いから、フォース フォー グッド活動、ナリッシュザ チルドレン プログラム、サステナビリティへの取り組みをととして、さまざまな支援を継続しています。

**FORCE
FOR
GOOD**

フォース フォー グッド

子どもたちの明るい未来に
つながる活動

▶8~14ページ



**NOURISH
the CHILDREN**

ナリッシュザ チルドレン

世界中の飢餓に苦しむ
子どもへの支援

▶15~18ページ



SUSTAINABILITY

サステナビリティ

持続可能な環境への
取り組み

▶19~20ページ

**FORCE
FOR
GOOD** フォース フォー グッド活動

「食べること」と「学ぶこと」で子どもたちを笑顔に。

子どもたちが栄養のある食事をとり、スキルや可能性を育む教育を受け、のびのびと過ごせるように。ニュースキンはForce for Good の理念のもと、食糧支援・教育支援・被災地支援・マラウイでの農業教育支援を続けています。

【参加マークの見方】 各活動ページ下部に表示されるマークで、参加方法が確認できます。 ※詳細は裏表紙をご参照ください。



製品購入を通じた寄付



単発寄付
(1,000円~)



継続寄付
(マンスリーサポート)



ビタミンールの購入・寄付



食糧支援 子どもたちが食に困らず、希望をもって歩めるように。



累計寄付金額(2006年~2025年)

約 **5.5** 億円

「支援を必要としている子どもたちに直接届けたい」という願いのもと、2006年よりフードバンクのセカンドハーベスト・ジャパンとパートナーシップを組み活動しています。ニュースキンは、会員や支援団体と共に、子どもたちへ食と笑顔を届けています。

毎月22,000食以上を子どもたちへ届ける



22,000
食 / 月

セカンドハーベスト・ジャパンとのパートナーシップ

児童養護施設やひとり親世帯で暮らす子どもたちへ食糧を届けるため、毎月150万円の寄付を行っています。

ひとり親世帯300世帯に 隔月で食品を提供



× 300
世帯 / 隔月

フードフォーキッズ

日々の食事とお弁当づくりに必要なお米や調味料のほか、企業等から寄付された食品を箱詰めして届けています。箱詰めはボランティアによって行われています。

特別パッケージ米



特別パッケージ米は、ニュースキンとセカンドハーベスト・ジャパンのコラボ。お米の購入費用等は、ブランドセンターのCaféの売上の半額が寄付されることでまかなわれています。

日本の子どもの貧困

こども家庭庁支援局家庭福祉課 令和7年4月「ひとり親家庭等の支援について」によると、ひとり親世帯の子どもの相対的貧困率は44.5%で、OECD加盟国36か国の中で下から3番目と、国際的に見ても非常に高い水準です。



たくさんの「ありがとう」が届きました。



年2回、約2カ月間で集まった食品を 必要とする人に届ける



フードドライブ

家庭で眠っている食品を持ち寄るフードドライブをブランドセンターや本社等で開催しています。会員・社員より寄付された食品は、フードフォーキッズの利用者などに届けられます。

週2回、コミュニティ施設で成長を応援



Kids Café(キッズカフェ)

飲食の提供はもちろん、支援企業やボランティアによる食育、工作に関するイベントなどをとおして、子どもたちの成長を応援する役割をもつ場所です。食の支援を必要とする子どもたちは、無料で利用できます。



認定NPO法人セカンドハーベスト・ジャパン ▶▶▶ <https://2hj.org/>

「すべての人に、食べ物。」という理念のもとで活動する日本初・最大のフードバンク。食品関連企業や個人から、まだ食べられるのに、さまざまな理由で流通できない食品を譲り受け、児童養護施設の子どものみならず生活困窮者などの元へ届けるフードバンク活動を行っています。



教育支援 子どもたちはみなリーダー になれる。その可能性を育む学び支援。

一般社団法人The Global Leadership Impact Fund Japan、フランクリン・コヴィー・エデュケーション・ジャパンとパートナーシップを組み、2016年より学校文化創造プログラム「リーダー・イン・ミー」の導入支援を続けて東日本大震災の被災地の子どもたちが未来を「生きる力」を育めるよう、東北の公立小学校への導入を支援しています。



公立小学校 累計**42**校
16,203人に
学びの輪が広がっています
(2016年～2025年)

一人ひとりが自分で考え、行動。多くの成長を実感

リーダー・イン・ミー

リーダー・イン・ミーを導入した世界中の小学校では、子どもたちに、自信、チーム表現力、リーダーシップ、問題解決力、コミュニケーション力がつき、結果的にあります。生活指導上の問題も減り、教員のモチベーションや保護者の満足度も

ワーク力、率先力、想像力、学力が向上したとの報告が向上したそうです。

ニュースキンでは公立小学校への研修やワークショップの実施、テキストの制作、配布などの支援を行っています。テキストでは、ニュースキンが紹介されています。

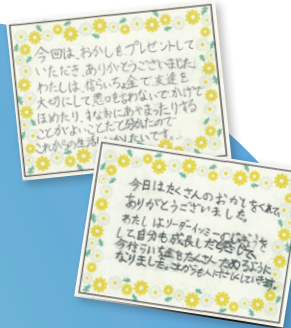


子どもたちからも嬉しい声が届いています。

授業を通じて、今まで想像していなかった相手の気持ちを考えるようになりました。

「信頼貯金」で友だちを大切にしていきたいです。

授業をして自分も成長したと感じ、これからも人に優しくしたいです。



Leader in Me®

FIND YOUR VOICE

リーダー・イン・ミーのプログラムとは？

リーダー・イン・ミーは、21世紀に生きる子どもたちに必要なスキルを育むための教育プログラムです。「すべての子どもはリーダーになれる」という方針のもと、「7つの習慣®」に基づき、教育者たちと協力して開発されました。プログラムは、1つの学校に3年間をかけて導入します。



スティーブン・R・コヴィーのベストセラービジネス書「7つの習慣®」人格主義の回復。

突然ですが、想像してみてください……

もし、学校に通う子どもたちが、**責任感をもって主体的に行動し、自分で目標を立てて、それを達成し、自分たちの問題や課題を自分たちで解決できる**としたら、どうでしょうか？

これは、リーダー・イン・ミーを導入している学校で現実になっていることです。

子どもたちが育む、リーダーシップの考え方の基準「7つの習慣®」

1. 自分で考えて行動する。自分に責任をもつ。
2. ゴールを決めてから始める。何が大切かを考える。
3. 大事なことから今すぐに。自分の約束を守る。
4. Win-Winを考える。みんながハッピー。
5. わかってあげてから、わかってもらう。お互いにわかり合う。
6. 力を合わせる。みんなで考えた方がうまくいく。
7. 自分を磨く。成長し続ける。

3年間かけ、「7つの習慣®」を学校の文化に育て上げます

1年目	2年目	3年目
まず全教員がリーダーシップの考え方の基準となる「7つの習慣®」を学び、子どもたちの目線で「7つの習慣®」を教えながら学校全体で「リーダーシップスクール」の実現を目指します。	「7つの習慣®」の考え方や行動をもとに「目標達成に必要な技術」を学び、実践することで、主体性を発揮できるリーダーとして、教員から子どもたちへのエンパワーメント(カブけ)を促進します。	リーダーシップを発揮することにより、子どもたちが学校の中心となり、会議や活動の計画、運営を行っていきます。学校や社会への貢献を意識したリーダーシップ、すなわち「生きる力」を育んでいきます。

※「7つの習慣®」および「リーダー・イン・ミー」は、米国フランクリン・コヴィー社またはフランクリン・コヴィー・ジャパン株式会社の登録商標です。





被災地支援

子どもたちの心を豊かに。
声に耳を傾け、必要な支援を継続。





東日本大震災支援 累計寄付金額
(2011年～2025年)

約**3.5**億円

2011年の東日本大震災で被災した子どもたちへの継続支援や、各地の自然災害等に迅速に対応する緊急支援を行っています。被災された方々が一日でも早く笑顔を取り戻せるよう、現地で必要とされるさまざまな支援を続けています。

[東日本大震災 被災地への継続支援]

 **楽しく学べる
文房具セットを届ける**
累計**43,040**セット
(2011年～2025年) **キッツフォーキッツ** 6月

 **大好きなお菓子を届ける**
累計**16,730**セット
(2011年～2025年) **クリスマスギフトプラン** 12月

リーダー・イン・ミーを導入している被災地の公立小学校のほか、セカンドハーベスト・ジャパンを通じて児童養護施設の子どもたちに贈られます。



小学校を訪問し、直接子どもたちへ(写真左)。
会員と社員が共にラッピング(写真右)。

 累計**10**市町村
142校 23,585人へ **心を育む本を寄贈**
累計**31,771**冊
(2013年～2020年) **スマイル ライブラリー プラン**

震災当時、外で遊ぶことができなかった子どもたちのために、本を届けました。図書が不足している各小学校へ赴き希望を募り、地元の業者に発注しました。



[各地の自然災害等への緊急支援]

令和6年能登半島地震 被災地への緊急支援

 日本赤十字社*1へ寄付
約**897**万円
(2024年1月、4月)

 ニュースキン製品を提供*2
合計**2,500**個と**6,800**セット
(2024年3月、6月)

被災者の生活支援のために、義援金を寄付し、現地で必要とされるニュースキン製品を届けました。

新型コロナウイルス感染症 対策のための緊急支援

 日本政府など*3へマスクを寄付
合計**43,500**枚
(2020年4～7月)

 赤い羽根共同募金や
国境なき医師団へ寄付
合計**400**万円
(2020年4月)

深刻化していたマスク不足に対するマスクの提供や、各種支援活動への寄付を行いました。



マラウイ共和国での 農業教育支援

家族の自立をサポートし、子どもたちが
食べて・学べる未来を届ける。

世界の最貧国のひとつ、マラウイ。子どもたちが栄養ある食事をとり、学校に通える環境を整えるため、家族の自立を支援する農業学校「SAFI」を設立しました。日本からの支援により、政府や大学と協力し、SAFIのノウハウを効率的に多くの村へ広めています。

 累計**10,188**世帯の家族が参加
(2023年現在)

農業支援を通じた経済的自立支援

SAFIを中心に展開するプログラムは、「マラウイの人々の自立をサポートする」という目標を着実に達成しています。現地の環境に合わせたノウハウは子どもたちへ受け継がれ、地域社会を長く支えています。

厳しい土壌環境にもかかわらず、
各家庭で多様な野菜が育ち、地域の
自立と持続可能な未来づくりが
進んでいます。



農業教育支援プログラムの特徴

- マラウイ政府との連携**
政府に雇用された農業指導員をSAFIでトレーニングし、協力して農業知識や技術を広めます。
- リード ファーマーの育成**
村で選ばれた模範的な家族をトレーニングし、地域の農業技術指導者であるリード ファーマーを育成。彼らはそれぞれ5人のフォロワーファーマー(指導を受ける農民)を育て、知識を広げます。
- 成果に基づくインセンティブ**
効率的に収穫できた農家にはインセンティブが与えられ、成功体験が家族の意欲を高め、村全体にもよい影響をもたらします。



SAFIとは？

家族の自立を支援する農業学校「School of Agriculture for Family Independence (SAFI)」。2007年にニュースキン フォース フォーグッド財団が、地元の非営利団体や市民団体と提携して建設。約40の家族が生産性を高めるための農業知識や技術を学びます。



マラウイの貧困

労働人口の約62%が農業に従事する伝統的な農業国。しかし、基本的な農業知識が不足しているため収穫量が限られ、貧しい国のひとつに数えられています。

*1日本赤十字社「令和6年能登半島地震災害義援金」へ1月に会社から300万円、4月に会員・社員・会社から5,979,195円を寄付。 *2ニュースキン エクストマイルド フェイシャル クレンザー、スキンローション、エッセンス、クリーム、ニュースキンハンドローション、エスニック プロッサム エッセンス、オイルハンドクリームセット、エスニックボディ パターギフトセット *3児童養護施設や公立小学校、日本政府 合同マスクチームなど。



世界中の飢餓に苦しむ子どもへの支援



NOURISH the CHILDREN

ナリッシュ ザ チルドレン
プログラム

その一食が、子どもたちの未来をつくる。

世界中の子どもたちがすくすくと成長していけるように。ニュースキンでは、会員と社員によって購入された栄養食「ビタミール」を、飢えと栄養不良に苦しむ世界中の子どもたちに無償で届けるプログラムを実施しています。



※ニュースキンは、栄養補助食品とスキンケア製品を販売している企業であり、ニュースキン エンタープライズ社は、ニューヨーク証券取引所に上場しています (NYSE: NUS)。ニュースキンのプログラムであるナリッシュ ザ チルドレンは、米国の複数の州で商業的な共同ベンチャーとして登録されています。このプログラムを通じて、ニュースキンのブランド メンバーやショッピング メンバーはニュースキンからビタミールを購入し、それを民間援助機関 (NPO: 非営利活動法人) に寄付することによって、「子どもたちを栄養不良から救う」という難しい世界的な課題に取り組むことができます。ビタミールの価格には、生産、一般管理、配送、販売にかかる費用が含まれています。ほかのニュースキン製品と同様に、ブランド メンバーには報酬が支払われ、ニュースキンはビタミールの販売から利益を得ています。



ビタミール

ビタミールの食糧支援は、
栄養、教育、雇用も届けています。

■ 飢えを満たすだけでなく栄養を届ける

重要な栄養素を摂れない子どもたちは栄養不良となり、脳や骨、免疫系の発達が妨げられます。そうした子どもたちを救うため、ファーマネックスの研究チームがビタミールを開発しました。栄養不良の子どもたちの成長を助ける栄養素がバランスよく配合されています。

■ 子どもたちの教育を支える

多くの家庭では、子どもたち (特に女の子) が家の手伝いに追われ、日々の食事さえままならない状況です。そこでビタミールを学校給食として無料で提供したところ、親は子どもを学校へ通わせるようになり、教育の支援にもつながりました。



ビタミールとは

ビタミール1袋は5歳未満の小児の30食分に相当し、1食で240キロカロリーを摂取できます。1袋を受け取った子どもは、1ヵ月間、毎日1回栄養ある食事を摂ることができます。



400人の
雇用を生み出す

■ 400人の雇用を生み出すビタミールの製造

ビタミールはマラウイの工場で製造され、原料には現地の農作物が使われています。製造過程では雇用が生まれ、さらに工場建設は輸送費の削減につながるだけでなく、現地経済の活性化にも貢献しています。

ナリッシュ ザ チルドレン プログラムの流れ

会員や社員が購入・寄付したビタミールはニュースキンが取りまとめ、民間援助機関を通じて毎日7万人を超える子どもたちに届けられます。配布にかかる費用はニュースキンが全額負担しています。



ビタミールは、ナリッシュ ザ チルドレンが支援する工場で製造されます。



寄付者が購入したビタミールは、信頼できる民間援助機関に寄付されます。



民間援助機関は支援もつとも必要とする子どもたちにビタミールを届けます。



ナリッシュ ザ チルドレンには子どもたちの成長や健康状態が定期的に報告されます。



ビタミール

日本で購入・寄付されたビタミールは
マラウイの子どもの明日の笑顔になる。



マラウイ共和国

□ アフリカ南部 □ 人口2,166万人 □ 国民総所得(GNI)191位/197カ国中
※2024年世界銀行調べ。

5歳以下の子どもたちの2人に1人が栄養不全とされています。自然災害やHIVの影響も深刻で、子どもたちは生まれたときから多くの困難を背負っています。

[マラウイの子どもの現状]

日々の食事で必要な栄養素(8つの食品群)^{*1}のうち
5種類未満しか摂取できていない5歳未満の割合



76%

発育遅延^{*2}が見られる5歳未満の割合



37.6%

文章を読んだり、理解したりできない
10歳児の割合



87%

多次元的貧困^{*3}の状態にある子どもの割合



69.6%

出典: UNICEF Malawi Report 2024

*1 健康な成長のために、主食、豆、乳製品、肉、野菜、果物、卵、油脂の8種類が推奨されています。
*2 栄養不足、繰り返す感染症、心理的刺激の不足などにより、子どもの成長や発達に障害が生じる状態を指します。
*3 教育、医療、衛生などの基本的なサービスを十分に受けられない状態を指します。

ビタミールを食べて笑顔になった子どもたち



パトリック ジョナサン

2歳で両親を HIV で亡くし、困難な環境の中で高齢の祖母と暮らす少年。ある日、彼に重度の栄養不良の兆候があらわれ、心配した祖母が保育所に相談したところ、ジョイスバンダ財団を通じてビタミールを受け取ることができるようになりました。4歳になった彼の健康状態は大幅に改善され、勉強にも熱心に取り組む優れた子どもに成長しました。



ルンビ

栄養不足により学業に支障をきたしていた6歳の少女。それを知ったニュースキンはパートナーシップを組む団体を通じて彼女が通う学校にビタミールを届けました。すると彼女の健康状態と成績は飛躍的に改善。空腹で元気がなかったほかの子どもたちにもビタミールが提供されたことで学習意欲が高まり、出席率が急上昇しました。



NTC レコグニション プログラム

ビタミールを NTC ADP* と単発で購入し、寄付を通じて Force for Good の精神を实践されている会員の方々を称えるプログラムです。

※ブランドメンバー専用。
*ナリッシュザチルドレン オートマティック デリバリー プログラムの略。
ビタミールを定期購入し、寄付すること。

詳しくはこちら
(要ログイン)



フレンド

1カ月に30食を届けることができます
あなた自身が1カ月にビタミール1袋を購入・寄付



1袋
▶ 約30食



ロングターム フレンド

1年間の継続で360食を届けることができます
あなた自身が1カ月にビタミール1袋を購入・寄付し、12ヵ月継続



月1袋以上
×12ヵ月
▶ 1年間継続で
約360食



NTC アンバサダー

1年間の継続で約6,000食を届けることができます
あなた自身、もしくは、あなたのグループ(第1世代のダウンライン)で毎月ビタミールを合計16袋以上購入・寄付し、2ヵ月継続(あなた自身の購入・寄付:4袋以上必要)



月16袋以上
×2ヵ月
▶ 1年間継続で
約6,000食



NTC チーフ アンバサダー

1年間の継続で約24,000食を届けることができます
あなた自身がNTC アンバサダーを達成し、かつあなたのグループ(第1世代のダウンライン)で同じ月に3人が「NTC アンバサダー」を達成



月16袋以上
×2ヵ月×4人
▶ 1年間継続で
約24,000食



ナリッシュザチルドレンは、
私たちのビジネスの5%かもしれませんが、
私たちのあり方の95%を象徴しています。

——— ニュースキンエンタープライズ創業者 ブレイク M. ローニー

私たちは、世界の Force for Good になることをミッションとしています。ナリッシュザチルドレンは、栄養不良や飢餓に瀕した子どもたちに命を吹き込む機会を与えてくれます。Force for Good となるうえで、これに勝るものはありません。



持続可能な環境への取り組み



SUSTAINABILITY

サステナビリティへの取り組み

今日の一步は、10年後につながっていく。

もっとわくわくした未来の地球に出会うために。ニュースキンは、**Planet** (地球)、**Product** (製品)、**People** (人々)の観点から、サステナビリティ (持続可能性)の向上を目指しています。製品パッケージの簡素化、環境に配慮した成分の採用、環境保全やリサイクル活動などに取り組んでいます。



グローバル

エコパッケージ

サステナブルな未来へ向けて、環境に配慮した製品パッケージづくり。



削減できた量 (2023年)

プラスチック
約**40**トン
※500ミリリットルのペットボトル149万本分に相当。

紙
約**12.5**トン
※標準的なコピー用紙275万枚に相当。

2030年までに全製品のパッケージを簡素化し、サステナブルなものに変える施策を進めています。2019年に環境に与える影響を評価するスコアリングシステムを構築し、2023年には30製品以上を評価、改善しました。



日本

環境保全

みどり豊かな地球を目指すための活動を継続。

北海道・霧多布湿原の保全活動

霧多布湿原ナショナルトラストへの支援
「美しい自然を未来の子どもたちに引き継ぎたい」という認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラストのミッションに賛同し、2000年より保全活動を支援しています。さらに2023年からは、生態系の維持に欠かせない水源となる森を育てる「霧多布湿原ニュースキンの森」植樹プロジェクトを展開しています。

累計寄付金額 (2000年~2025年)

6,040万円



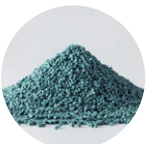
植樹プロジェクトでは、放置され荒れた土地の再生を目指し、2025年も会員・社員が苗木80本を植えました。

空き容器リサイクル活動



Force for Greenリサイクル プログラム

2021年からニュースキン製品の使用済み容器を回収・リサイクルしています。容器はリサイクル業界の草分けであるテラサイクルのプログラムを活用し、新たなものづくりに再生されています。



使用済み容器の再生ペレット。新しいものづくりの原料の一部として活用されます。



累計回収量 (2021年~2025年)

約**48,497.7**キログラム
(1,209,026個)



回収容器から生まれたペンケースと鉛筆キャップ。2023年に東日本大震災の被災地の子どもたちに届けました。

★ つながる力で広がった笑顔の数

ニュースキンはForce for Good(人々がより豊かになるための力となる)というミッションの実現を目指し、フォースフォーグッド活動、ナリッシュザチルドレンプログラム、サステナビリティへの取り組みを行ってきました。

FORCE
FOR
GOOD

FFG 基金

14 億円

ニュースキンジャパン フォースフォーグッド基金(FFG基金)の累計は14億円を超え、子どもたちや地球のための活動に役立てられています。(2006年~2025年)



教育支援

累計 16,203 人

リーダー・イン・ミーの導入支援を行った公立小学校は累計で42校。今も子どもたちはリーダーシップを学んでいます。(2016年~2025年)



ビタミンール累計寄付数

8 億 5,000 万食

会員・社員によって購入されたビタミンールは、飢餓に苦しむ子どもたちへ無償で提供されています。(2024年7月時点)



食糧支援

毎月 22,000 食以上

児童養護施設やひとり親世帯で暮らす子どもたちへ食糧を届けるために、毎月150万円の寄付を行っています。



被災地支援 本・文房具セット・クリスマスギフト

累計 91,541 点

キットフォーキッズやクリスマスギフトプランなどを通じて、東日本大震災の被災地の子どもたちを支援しています。(2011年~2025年)



空き容器リサイクル

累計回収量 約 48,497.7 キログラム

ニュースキン製品の使用済み容器を回収・リサイクルするForce for Greenリサイクルプログラム。新たなものづくりに活用されています。(2021年~2025年)

★ 世界中のニュースキンが届けた笑顔

ニュースキンは約50のマーケットでビジネスを展開し、世界各地で子どもたちの健やかな未来のための活動にも取り組んでいます。ここでは、2024年に実施した活動の一部をご紹介します。



グレートチャイナと東南アジアで、先天性心疾患の子どもに対して1,429件を超える手術を提供しました。これは各地域のチルドレンズハート基金によるもので、1999年以降の累計は32,000件以上にのぼります。



米国で暮らす、支援を必要とする子どもたちのために、パートナー団体を通じて55万食を超える食事キットを届けました。これは米国本社の40周年記念企画で、会員・社員らが参加し、ギネス世界記録™「Most People Packing Meal Kits in 24 Hours」(24時間で食事キットを袋詰めした最多人数)を達成した取り組みです。

★ 世界で評価されたニュースキンの社会貢献活動

人々がより豊かになるための力になりたい。そんなニュースキンのForce for Goodの活動は、世界中のさまざまな外部機関より高く評価されています。※以下はニュースキンエンタープライズでの受賞歴の一部です。

2025



グロービービジネス
アワード
ビジネス・フィナンソロピー
オブサイヤー部門金賞



コミュニタスアワード
コミュニティサービス・企業の
社会的責任(CSR)における
リーダーシップ部門
サステナビリティにおける
卓越性部門



インターナショナル
CSRエクセレンス
アワード

2023



ベストインビズアワード
インターナショナル部門
CSRプログラム
オブサイヤー銀賞



インターナショナル
CSRエクセレンスアワード
コーポレートシチズンシップ

東京・表参道で、Force for Goodをもっと身近に

ニュースキンの社会貢献への想いに触れながら、支援活動にも気軽に参加できる店舗・ブランドセンター。定期的にボランティア活動も実施しています。



子どもたちへの食糧支援につながる Café

全メニューの売上の半額がニュースキンジャパンフォースフォーグッド基金に寄付され、ひとり親世帯へのお米の購入費用等にあてられます。お米はセカンドハーベスト・ジャパンとの特別コラボパッケージで届けられます。



笑顔の輪を広げる展示

リーダー・イン・ミーの教材や、リサイクル容器でつくられた文房具、子どもたちからの感謝の声、活動の動画などを3階で紹介しています。

ブランドセンター

製品体験、肌や栄養状態のチェックなども可能。ニュースキンの魅力を丸ごと楽しめます。
東京都渋谷区神宮前5-7-14 月・火・木・金・土 11:00~21:00、日 11:00~19:00(水・祝休)

つながる力から、豊かな未来を。
あなたのアクションから
生まれる笑顔があります。



[参加方法のご案内]

ニュースキン会員の方は、どなたでも社会貢献活動にご参加いただけます。
参加方法は大きく3つあり、役立てられる支援の内容が異なります。

詳しくは
こちら▶



1

製品購入を通じた寄付



One for Smiles
プログラム

使い道

- ・サステナビリティへの取り組み*1



NU SKIN
FORCE FOR GOOD
FOUNDATION

フォースフォーグッドキャンペーン
(エスネビック製品)

※エスネビック製品1個お買い上げにつき25セントがニュースキン
フォースフォーグッド財団に寄付され、先住民の文化の継承、
環境保護、難病根絶などに役立てられます。

2

直接寄付(ニュースキンジャパンフォースフォーグッド基金)



単発寄付(1,000円~)

使い道

- ・日本国内の子どもへの「教育」支援など
- ・サステナビリティへの取り組み*2、緊急災害支援など
- ・マラウイ共和国での農業教育支援(SAFI)



継続寄付
(マンスリーサポート)*3

※ブランドメンバー専用

使い道

- ・日本国内の子どもへの「食糧」支援など*4

3

ビタミンールの購入・寄付



ナリッシュザチルドレン
プログラム

使い道

- ・世界中の飢餓に苦しむ子どもへの支援

*1 霧多布温原保全活動、空き容器リサイクル活動。 *2 *1以外。 *3 次の2つの寄付申し込み方法があります。毎月のボーナスの1%~を
寄付/毎月のボーナスから定額を寄付。 *4 ボーナスからの単発寄付も対象。

ニュースキンジャパン 社会貢献活動
公式Webサイトはこちら▶



NU SKIN®

ニュースキンジャパン株式会社 www.nuskin.com
東京都港区虎ノ門1-3-1 東京虎ノ門グローバルスクエア14階
TEL:03-6626-1234 (代)

